



ホストファミリーのしおり

このたびは、CISV国際プログラムの日本大会に参加する各国からの子どもたち、ジュニアカウンセラー、リーダーのホストファミリーを快くお引き受けくださいますありがとうございます。現在各支部の大会委員会では、大会開催にむけてスタッフをサポートしつつ、万全の準備を進めております。

CISV日本協会では、ホストファミリーをお引き受けいただきました皆様の参考にしていただくため、「しおり」を作成いたしました。子ども達をお引き受けになる前に、必ず目を通していただき、ご質問等ございましたら、各支部の担当者にお問い合わせいただきますようお願い申し上げます。

目次

1. ホストファミリー・ガイドライン

CISV国際ビレッジ委員会作成の英語版よりいくつかのポイントを抄訳

2. 日本大会時におけるホームステイでよくおこる問題と対策

今までにホストファミリーをお引受けいただいた方からのアドバイス

3. ベテランCISVerのホームステイ事例集

ホストファミリー・ガイドライン

CISVのホームステイの種類

1. 前泊

大会本番前の2日間、子どもたちを受け入れていただきます。子供たちにとっては、このホームステイがプログラムのスタートとなります。その間、リーダー、ジュニアカウンセラー、スタッフはキャンプサイトにて、子どもたちを迎え入れる準備をします。ほとんどの子どもたちは、初めて自分の家族から離れることになり、頼りのリーダーもそばにいないために、特に緊張する期間です。文化の差、時差ばけ、ホームシックそして興奮が混ざり合って、不安な経験をすることになります。ホストファミリーとして、子どもたちのこのような状態をご考慮いただきますようお願いいたします。

(注)前々泊：飛行機のスケジュールにより、集合日時(大会開始日)に着くことができない参加者は、開始日より早く到着します。この場合は、リーダー、ジュニアカウンセラーもホームステイが必要となります。

2. 中泊(ビレッジのみ)

ビレッジの中間期、子どもたちは2泊3日キャンプサイトを離れます。この期間、リーダー、ジュニアカウンセラー、スタッフには休息、話し合い、今後の計画、リクリエーションが許されます。子どもたちは2人ずつ泊まりますが、自分のチームの子どもと一緒にではありません。そのため、子どもたちは

コミュニケーションが簡単ではないかもしれませんが、しかしお宅にホームステイする前にこの子どもたちは2週間一緒に過ごしていますので、皆様のご心配をよそにお互いわかりあうでしょう。子どもたちは自分では認めたがりませんが疲れていますので、ゆっくりとしたスケジュールをたててあげてください。

3. 後泊

全チームではありませんが、チームの子どもたちとリーダーそしてジュニアカウンセラーを大会後に泊めていただくことがあります。帰りの飛行機のスケジュールにより、そのチームは皆と同じ日に出発することができないため、この宿泊が必要となります。キャンプ後、各国チームの帰国便・スケジュールに合わせて1チームずつキャンプ地から発せさせることは、何回も「さようなら」を繰り返すこととなります。そのため帰国便の出発まで、ご家庭に預かっていただく方が望ましいです。子どもたちはとても疲れていて、たいていの場合、ビレッジが終わって一緒にいた仲間と別れ、とても悲しがっています。彼らはあまり多くの活動に興味を示さないでしょう。

ホームステイをお引き受けいただくときのチェックリスト

1. リーガル/インシュランス・フォーム(YLIF)のコピーをお預かりいただきましたか?この書類はホームステイ期間中いつでもすぐにとりだせるようにしてください。
2. ヘルスフォーム(HF)のコピーをお預かりいただきましたか?この書類はホームステイ期間中いつでもすぐにとりだせるようにしてください。
3. 必要な医療措置や特別な処置(アレルギー、喘息など)がある場合は、大会委員会より書面にて連絡いたしますので、この書類をいつでもとりだせるようにしてください。
4. 緊急時に備えて、いつでも(24時間)使える交通機関がありますか?(自家用車、タクシー等も含む)
5. 最初と最後の受け渡し日時と場所はおわかりですか?
6. 24時間連絡可能なスタッフあるいは大会委員の電話番号を大会委員会からお伝えしましたか?
7. リーダー、あるいは子どもの母国語が話せる人への連絡方法を大会委員会からお伝えしましたか?間接的な方法でよいですから、いつでもリーダーと連絡がつくようにしてください。
8. 緊急時のための病院や歯科医など基本的な医療機関を決めていただいていることが望ましいです。

上記8項目の中でわからないことがありましたら、直ちに各支部大会委員会の担当者にお問い合わせください。

受け入れに成功するためのヒント

1. 相手の国や文化に興味を示し、いつも子どもたちに話しかけるようにしてください。
2. 家庭を中心としたシンプルな活動が好まれます。特に子どもたちがまごついていたり、淋しがっていたりする場合は、特別な活動をいれすぎずに、日常の生活をするように心がけてください。
3. 遠出は控えてください。
4. 忙しさと休息が調和した日程をたててください。
5. 日本大会の遠足の予定となっているところへ連れて行くことは避けてください。
6. アレルギーや食事制限、常備薬、宗教的な約束、その他の文化的な制約があるか聞いてください。
7. 高価な贈り物やおみやげを買って子どもたちを甘やかすことは避けてください。
8. もし子どもに関して心配なことがあれば、リーダー/スタッフに連絡(電話)をして、ご相談下さい。

9. 子どもに自分の家族へ電話をさせることは好ましくありません。緊急時の場合には、まずリーダーかスタッフに許可を得てからとなります。メールに関してもある程度の制限（家に1通とか、5分間だけとか）を加えた方がよいでしょう。
10. 特に同年代の子どもがいることは助けになるでしょう。

日本大会時におけるホームステイでよくおこる問題と対策

（1）案内・家のルール

まず、家についたら、家族の自己紹介をして、家族皆がホームステイを楽しみにしていたことを伝えてください。そして、家の案内をしてください。寝室、トイレ、お風呂（シャワー）、台所など、全部見せてあげてください。また、その時に、使い方や使う時間について、お宅のルールをきちんと話してください。尚、子どもたちは、大抵一緒の部屋で寝たがります。4人の場合も一部屋に雑魚寝の方が好まれるようです。お客様扱いをしないで下さい。

また、大会委員会から事前に連絡がいくとは思いますが、アレルギーや宗教上の理由から、食べ物の制限がある場合がありますので、最初に確認してください。

（2）食事

せっかくいろいろと考えてご用意いただいても、子ども達（特に欧米系）が全く食べないことはよくあります。11歳では、日本食に興味のある子はむしろ少数です。一般的には、ハンバーガー、ハムとチーズのサンドイッチ、スパゲティミートソース、シリアル、バナナなど、ごく簡単のものが好まれます。ケンタッキーフライドチキンやマクドナルドのハンバーガーをだしても良いでしょう。それでも、時差があったり、ホームシックだったり、食べないことはよくあります。あまり気になさらず、お腹が空いたら食べても良い駄菓子などをご用意いただくとよいと思います。キッチンにはいって冷蔵庫のものをとりだしても良いか、どれは自由に食べて（飲んで）良いのか、電子レンジやオーブントースターは使って良いのか、などなど、ご家庭によってルールは違いますから、「しても良いこと」「してはいけないこと」をはっきりと説明してあげてください。スーパーマーケットに連れて行って、食べたいものを選ばせるというご家庭もあります。

（3）飲み物

家に着いたらすぐに喉が渴いた時はどうすれば良いか教えてあげてください。前泊の場合は、日本では水道水が飲めることを教えてあげてください。麦茶は好まれません。欧米の子供たちはジュースやミルクも好むと思います。

（4）就寝時間

前泊の場合、欧米諸国から来た子ども達は時差がある上、初めて親から離れる旅でホームシックだったり、興奮状態だったり、その晩はなかなか眠らないかもしれません。昼間にプールへ連れていって充分疲れさせる、夜遅くまで話を聞くなど、ご家庭によって様々な工夫をされているようです。ビデオを見せたり、ゲームをさせてあげたりするのも対策のひとつです。

(5) 電話・メール

ホストファミリーのお宅から、母国のご家族へ電話するのは奨励していません。緊急連絡の場合は、リーダーとスタッフの許可を得てから電話させてください。ただし、前泊の場合、リーダーに代わって母国へ連絡する役をもった子どもが居る場合もありますので、そのような事情があった場合にはかけさせてあげてください。メールについては、禁止はしませんが、時間を制限するなど、ルールを決めた方が良いでしょう。また、チャットは禁止にした方が良いでしょう。同様に、テレビゲームも、時間を限るなどルールを決めた上でさせてあげたら良いでしょう。

(6) お風呂

たいてい子どもたちはお風呂よりもシャワーの方を好みます。日本では、大風呂や温泉で大勢で入浴する習慣がありますが、当人が希望しない限り、一緒に入浴することを勧めないでください。また就寝前ではなく、朝シャワーをする習慣の子どもも多いので、なるべく希望に沿わせてあげてください。日本人のようにお風呂を重視する習慣はありませんので入らなくても無理に勧めないほうが良いでしょう。

(7) 昼間の活動

特別なことをしないで日常の生活をさせてください。プログラム中に十分な買物の時間がない場合は、1000円ショッピングに連れて行ってあげると喜ばれます(特に女の子)。ただし、金魚など生き物、または大きなぬいぐるみなどをお土産として買ってしまう子供が時々いるようなので注意してください。どこかへ連れていく場合は、プログラム中の遠足などと重ならないように注意してください。リーダーが小額のお小遣いを預かっていますので小額(1000円以下)を子供にもたせると興味を持って自分で買い物をして良い体験にもなるでしょう。

(8) 留守番

子どもたちだけで留守番をすることがないようにくれぐれも注意してください。

(9) お土産

ホームステイもC I S Vプログラムの一貫ですから、お土産をもたせる必要はありません。また、子どもたちが持ってくるお土産は、その国や子どもによってまちまちですから、比較せずに受け取ってあげてください。

(10) 時間厳守

全体のスケジュールへ影響しますから、最初と最後の受け渡しの時は、時間厳守をお願いします。受け渡し時にはリーガル/インシュランス・フォーム(Y L I F)のコピー、ヘルスフォーム(H F)のコピーも返還してください。また、支部によっては、写真や簡単な報告書の提出をお願いしますので、その際はご協力ください。

ベテラン CISVer のホームステイ事例集

(1) Iさんの場合

< 前泊：時差の問題 >

リーダーつきの場合：部屋に案内すると疲れていて食事に起こすまで寝てしまいます。特に大人のリーダーが居るとなお更です。食事に無理やり起こしてもあまり食欲は無いようです。

子どもたちは時差の関係で夜中に起きています。ごそごそするので覗いてみると "I can't sleep" と訴えます。また夕食は機内食や時差の関係で食欲が無く、やはり夜中におなかをすかせます。

子どもだけの場合は夕食まで思いっきり体を動かして遊ばせて（プールや公園など）食後早めに寝かせるのがいいと思いますが、リーダーが居ると "Kids are so tired. We need some rest" とって部屋に入ってしまうのですが、リーダーにそう言われるとなかなか「寝ないで起きていて！」とは言えません。

我が家では1泊目の夜中は徹底的に子どもに付き合うことにしています。持参したしおりや写真を見て説明してもらったり、From 1 1 などを見せたり、少しカードで遊んだり、夜食(スナック)を食べたりして2：00頃何とかベッドにいれます。それでも部屋で明け方近くまで話しているようですが、付き合っていると後は安心してリラックスできるよう。次の日は寝たいだけ寝かせてランチ後プールや遊園地に連れて行きます。

< 食事の問題 >

着いた日の夕食は軽食（パスタ・ピザ・ハンバーガーなど）が better

朝食はパン、シリアル、果物などを出しておいて、子どもたちに好きなように食べさせます。おにぎりでも食べる子は喜んで食べます。

あまり食べなくても気にせず、スナックや果物、チョコレートなどでも食べたいものを食べさせていいと思います。遊びに行った出先でマクドナルドなどに連れて行くと喜んで食べます。

飲み物は冷蔵庫から出して勝手に飲んでよいことにしています。それでもそばに誰か居ると大抵一言断る子がほとんどです。日本の場合、水道の水も飲めることを教えておくと夜中にのどが渴いたときなど心配しないですみます。

回転寿司などはカラ揚げもあったりして結構喜んで食べますが、基本的に日本食を出してもあまり食べないと考えた方が良いでしょう。

< 4人一緒の受け入れ時の注意 >

特に4人一緒だと色々知恵を働かせて夜中に部屋で遊び始め、いたずらもします。興奮もしていますし元気が良すぎて大騒ぎが始まります。ホームシックよりずっと楽ですが、障子に穴が開くのは毎回です。

我が家ではベッドを適当に並べておくと、翌朝は必ず4つくっつけて寝ています。移動時に床に傷がつかないようにフェルトなどを脚に張っておくとかの注意が必要です。また壊れて困るものはしまっておくこと。

<他に>

電話は子どもの部屋はジャックを抜いておくこと。めったにかけませんが、たまにあります。

ホームシックの場合はかなり苦労します。特に夜はシクシク泣いたり、おなかが痛くなったり手が掛かりますが、なるべくそばに居て背中をなでてあげたり話しかけてあげたり、余り具合が悪い場合はリーダーに電話して本人と話してもらいます。家に電話させるのはリーダーの許可を得てからにすること。(たいてい昼間遊んでいる時は元気なのですが)

E-mailなどはこちらから聞けばたいてい使いたいと言いますが、子どもから使いたいと言ってくることはあまりありません。使用させる場合は勝手には使わせないことです。

(2) Hさんの場合

私のつたない経験で今までに登場していない情報をお役に立てればよいと思い投稿します。

1. 食べ物 11歳児はどの国の子供も興味はあるがきわめて保守的でトライはしない。(ICレベルから上の大人は別)結局並べておいて選択させるのが良い。食については押し付けはNO、食事中に話を聞いてあげるのがよいおかずになる。
2. 遊び 万国共通11歳は絶対にプールで疲れ果てさせるべし。時差関係なく良く眠る。得意種目を紹介させ自信を高めさせる。
3. 生活 シャワーは無理強いしない。プールで代用と割り切る。(11歳以上とここも違う)昼に立派なことを言っても夜は幼児に還るので要注意。
4. 人数 経験から言うと4人一緒がやはりベスト。初めて知り合った4人が一緒に寝泊りすることで先ず一番の友達を作りつつあり落ち着く。遊びでは男子が生活では女子が中心になりバランスが良いと私は感じている。
5. 全体 絶えず子供たちがどこに興味に向かっていくか観察するのがホームステイ親の第一の務めと思う。

2005年5月19日作成 文責：今西淳子

内容について質問等ございましたら、下記へご連絡ください。

riskmanager@jp.cisv.or.jp